

Port of Hachinohe

No. 21
Mar 2007

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 「八戸港セミナー in 盛岡」開催
- 2006年八戸港コンテナ貨物取扱量
- 八戸前沖サバの輸出活況
- 官民一体農林水産物海外販路拡大事業の進め方
- ロシア極東・ハバロフスクへ
～農水産物を輸出するなら今～
- 青森県輸入住宅促進協議会ニューズレター

「八戸港セミナー in 盛岡」開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、2月14日、ホテルメトロポリタン盛岡において「八戸港セミナー in 盛岡」を開催し、岩手県の企業の皆様に、八戸港のコンテナサービスや補助金制度をPRしました。

今回のセミナーでは、八戸港の紹介の他、日本食のスペシャリストであるセントラル貿易㈱代表取締役の田中均氏から、「海外における日本食品」と題してご講演をいただきました。セントラル貿易㈱は東京・米国に5社7拠点を展開し、世界各国と取引を行っており、実体験に基づいた海外での日本食事情を紹介していただきました。

田中氏からは、「様々な国で日本食が受け入れられているが、日本食はまだマイナーであり、醤油でさえ一般的なソースコーナーには陳列されていない。また、海外では日本の食材が思いもしない食べ方をされることがある。オーストラリアのパーティーで出された巻き寿司は、抹茶と紅生姜で色付けされた緑と赤のカラフルなもので、日本の巻き寿司とは全く違う食べ物になっていたが、現地の人にはおいしいと好評だった。」などの事例が紹介されました。

さらに、日本食の輸出に関しては、「相手国をよく調査すること、輸出にかかる諸費用を考慮して価格を設定することが重要である。」など、貴重なアドバイスをいただきました。

同社では、農林水産省が平成25年までに食品輸出1兆円規模を目標としているように、農水産物の輸出に高い可能性を感じており、特に日本米の輸出に力を入れていきたいとのことでした。

セミナーの後の情報交換会では、参加者との活発な意見交換が行われました。今回のセミナーが、参加された企業の皆様のお役に立ち、八戸港の利用が拡大することを期待しています。



協議会会長（八戸市長）：小林 眞



講師：セントラル貿易㈱代表取締役 田中 均 氏



熱心に聞き入る参加者

2006年八戸港コンテナ貨物取扱量

2006年の八戸港のコンテナ貨物取扱量は、対前年比約12%増の33,904TEU、実入りでは同約5%増の21,042TEUと、それぞれ過去最高を記録しました。

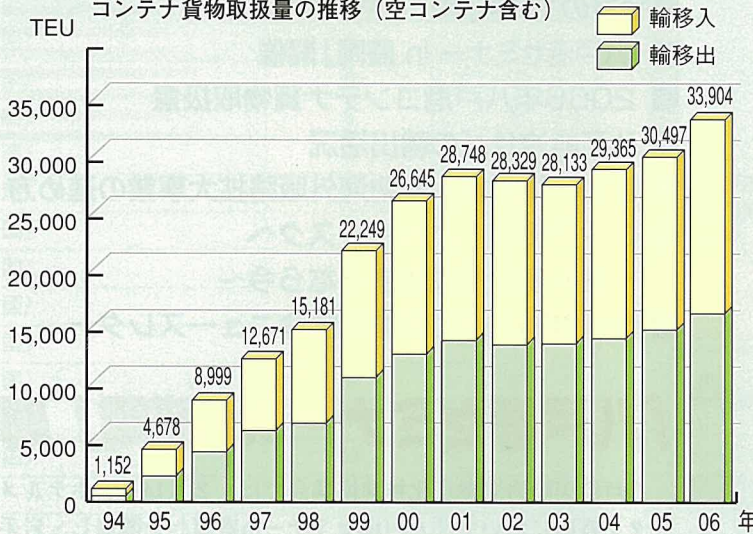
近年、中国・韓国航路の伸びが顕著で、昨年は取扱量全体の54%を占めました。また、新たに東京港までの航路が開通され、内航フィーダー航路は前年比3.5倍と大幅な伸

びを記録しました。

主な取扱品目は、輸出ではフェロニッケル、冷凍サバ、イカ肝粉、輸入ではタピオカ澱粉、製材、冷凍イカが挙げられます。

また、主な貿易相手国は、輸出では台湾、中国、マレーシア、輸入では中国、タイ、韓国となっています。

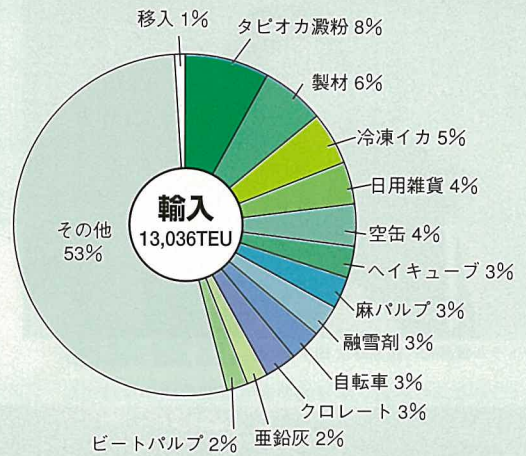
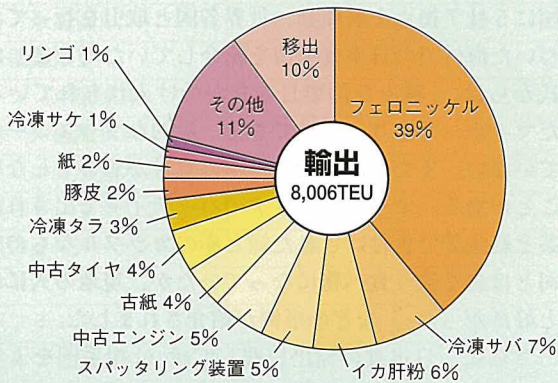
コンテナ貨物取扱量の推移 (空コンテナ含む)



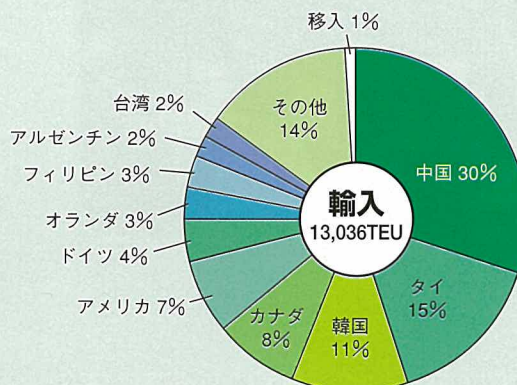
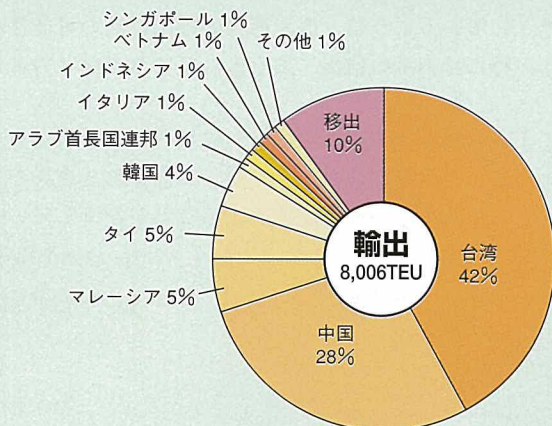
単位：TEU

航路	輸移出	輸移入	合計
中国・韓国	9,320	9,017	18,337
東南アジア	6,530	6,526	13,056
北米	24	536	560
内航フィーダー	937	1,014	1,951
総計	16,811	17,093	33,904

品目別コンテナ取扱数量



国別コンテナ取扱数量



八戸前沖サバの輸出活況

八戸港からのサバの輸出が活況を呈しています。昨年、近年にない豊漁となった八戸前沖サバは、輸出量が前年比5倍の576TEUを記録しました。主な輸出先は中国をはじめ韓国・タイなどで、中国が8割を占めています。

輸出が急増した要因としては、ノルウェーサバの価格が高騰し、相対的に国内のサバが割安になったことや、牛海

綿状脳症（BSE）や鳥インフルエンザの影響などで魚食が注目されていることが挙げられます。

サバ以外の水産物についても、中国を中心としたアジア各国からの強い需要により、好調に輸出されています。

今後のアジア各国の経済成長や、健康志向等による魚食文化の普及次第では、更なる輸出増加が期待されます。

主な水産物の輸出量推移



2006年のサバの輸出相手国

単位：TEU

相手国	数量
中国	473
韓国	63
タイ	22
インドネシア	8
ベトナム	4
マレーシア	4
シンガポール	2
合計	576

新造船「WORLD SWAN II」初入港

2月6日、三菱製紙株式会社八戸工場向けのチップ専用運搬船「WORLD SWAN II」（総トン数：39,895^t）が八戸港に初入港しました。

この船は、初代「WORLD SWAN」の老朽化により、昨年11月に竣工した新造船です。

船名は、青森県の県鳥である「白鳥」が世界に羽ばたくイメージに由来し、2代目であることから「WORLD SWAN II」と命名されました。

八戸工場の増産体制に備え、これまでよりも一回り大型化され、原料となるチップを、南米のチリやオーストラリアから運搬します。

当日は、関係者が船内を見学し、船長への花束贈呈、鏡開きなどの記念セレモニーが行われました。



初入港したWORLD SWAN II



船内見学の様子



初入港祝賀会での鏡開き

来て、見て ポートアイランド

八戸港にある人工島、ポートアイランドについて皆様にご紹介するコーナーです。

今回はポートアイランドにある八戸警察署水上警備派出所をご紹介します。

八戸警察署水上警備派出所は1998年1月からポートアイランドを拠点に業務を開始しました。水上での事件・事故の未然防止と海上犯罪の予防・検挙のため、派出所前に係留されている高速警備艇「みちのく」(全長24m、41トン)で毎日海上パトロールを行っています。普段は、北は三沢や六ヶ所、南は岩手県境まで広く太平洋側の警戒にあたっていますが、月に2~3回は陸奥湾や日本海側へも巡回に向かいます。

波の高い日や風の強い日は、岸壁や防波堤の釣り人に転落防止を呼びかけ、夏の海水浴場では海水浴客の安全監視にあたります。水上を守る者として河川での事故にも対応しますが、水深の浅い河川などでは「みちのく」に搭載さ

れている水上バイク「うみねこ」が活躍します。小回りがきき、プロペラがないので救助者を巻き込む危険がありません。

現在、派出所には4名の所員が配置され、昼夜の別なく海の安全を守るために活動しています。所長の吉田警部補は「八戸港では1996年のコンテナ定期航路開設に伴い、外国船の入港が増え、密輸・密入国の増加が懸念されています。水上警備派出所は海上保安庁や税関と連携し、密輸・密入国の防止のほか、密漁の検挙、海難防止に努めています。」と話されていました。海の安全を守るため、警備艇でのパトロールが今日も続いています。



八戸警察署水上警備派出所



高速警備艇「みちのく」

八戸港貿易センター施設利用ご案内

㈱八戸港貿易センターでは、各種会議・展示会・セミナー等にお使いいただけるよう、多目的ホール（ポートルホール）と大小会議室をご提供しています。音響設備・移動式ステージなどを無料で貸出するほか、駐車場も無料でご利用いただけます。

FAZメンバーズ・八戸港貿易センター株主には料金ご優待制度があります。

どうぞお気軽にご利用ください。



1階多目的ホール

■施設利用料金（金額は消費税込み）

◎多目的ホール	面積：350m ² （100坪） 料金：6,090円／1時間
◎大会議室	面積：168.7m ² （50坪） 料金：2,625円／1時間
◎小会議室	面積：67.5m ² （20坪） 料金：1,050円／1時間

注：準備・片付けに要した時間は上記料金の7割となります。

※当社では学校の社会科学見学、団体等による港湾視察など随時受け付けています。貿易資料の提供や説明も無料で行っておりますので、ぜひご活用ください。

お問い合わせ先

㈱八戸港貿易センター
TEL 0178-72-1505
<http://www.hptc.co.jp>

官民一体農林水産物海外販路拡大事業の進め方

青森県及び青森県農林水産物輸出促進協議会では、中国、ロシア、ヨーロッパ、アメリカ向けの輸出促進事業を行ってきました。本協議会での事業推進手法について簡単にご紹介します。

【ステップ1】 新規市場可能性調査

「貿易はパートナー探しが全て」と言われるほど、信頼できる相手を見つけることが大事です。そのためには、まず、相手国の法制度、流通事情、商習慣等の情報収集を行い、さらに現地に行って直接話を聞き、現地パートナーを発掘します。この場合の注意点は、一部の人の意見や、テレビ、新聞の情報を鵜呑みにせず、自分の目で確かめることです。

そして、そのパートナーと連携してテスト輸出・販売を行うことによって、実務上の課題を抽出していきます。しかし、このテスト輸出・販売についても、船に乗せたら終わりという売りっぱなしや、テストだからと言って丸投げで委託したり、販売実績を出すために安売りをしたりしては、実際の取引につながりません。輸入業者側としても売れるかどうか分からない、未知の商品を扱うわけですので、はじめての取引を円滑に進め、次の発注につなげるためのきっかけづくり、また課題抽出として行う必要があります。

【ステップ2】 販路の確立

パートナーが見つかり、輸出手続き上も問題ないことが分かれば、次は、現地の人に「良い商品」「売れる商品」として、認知してもらうための活動を行い、商売ベースにのせる段階となります。そのための販促キャンペーン、パイヤー招聘、商談会を実施して、販路を確立していきます。この段階では、ステップ1でつなげたルートで「育て」、「市場を作る」作業となりますので、一定の



ロシアでは浴衣で日本産を強調

品質・価格を確保して、商品イメージを確立することが必要となります。

【ステップ3】 輸出規模の拡大

販路が確立し、ある程度認知されたものについては、新たな購買層への展開、新規アイテムの投入等によって、幅を持たせる作業を行います。本県で言えば、りんごで「青森ブランド」の知名度をあげ、次に水産品や加工品も売っていく、小売から卸売に広げる、ながいも等の商品をアジア系以外の人々にも提案していく、というのもそのひとつです。

平成19年度からは、これまでの中国、ロシア、ヨーロッパ、アメリカに加えて、中東地域での輸出可能性調査も計画しています。県経済全体に波及効果が期待される地域については、そのきっかけづくりと言える初期投資部分等について、協議会でも支援を行い、県内関係機関が一体となって取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。



アメリカでのながいもPR

お問い合わせ先

青森県 農林水産部
総合販売戦略課 宣伝・販売グループ
TEL：017-734-9607 FAX：017-734-8158

「八戸LNG基地」の試験運転が始まる

12月18日、新日本石油(株)八戸LNG基地へLNG輸送船の第一船が到着し、総合試運転が始まりました。

同基地は、平成17年9月から八戸市大字河原木の八戸油槽所跡地に、4,500キロリットルの貯蔵タンクや気化設備、LNG輸送船の専用岸壁等の整備が進められてきました。

LNGは、東京ガス(株)袖ヶ浦工場(千葉県)から輸送されることになっており、3月までに北東北の都市ガス事業者等への供給が開始される予定となっています。

都市ガス事業へのLNG導入は、石油代替エネルギーとして国の施策に基づき進められており、同基地の操業により、LNG化空白地域であった北東北地域においてもLNG導入の推進が期待されます。

*LNGは、液化天然ガス(Liquefied Natural Gas)の略で、メタンを主成分とする可燃性ガスです。地中からの天然ガスを-162℃まで冷却し液化することで、輸送や貯蔵を効率化しています。

また、同じ発熱量での炭酸ガスの排出量が、石炭や石油より少なく、クリーンなエネルギー源です。



第一工業港へ入港するLNG輸送船(新日本石油提供)

お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課
TEL：0178-43-2111 内線338

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2007年3月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ、ワシントンD.C）の6名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけることになっておりますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308・609）までご連絡ください。

REPORT 1

香港レポート



佐藤 正博 さん

香港における日本語教育事情（その1）

八戸市のみなさん、こんにちは。前任者の長谷部様からバトンを受けて海外経済協力員に任命された佐藤と申します。

今回は香港における日本語教育の第1回目として、私の友人たちの様子を中心にレポートをまとめたいと思います。

私の友人たちとの出会いはインターネットによる友だち探しからでした。日本語をもっと勉強したいというPさんの掲示板に私が投書し、近いうちにお会いしましょうということで始まったのです。それからPさんの友人たち、日本語学校のクラスメートなど、次第に仲間が増えていきました。更に香港在住の日本人とも交流を持つようになりました。

彼らの日本語能力はそれぞれ違うのですが、レベル的には最低でも日本語検定試験3級以上です。すでに1級を持つ友人とは、すらすら会話ができますし、メールでの文章を見てもほぼ自然な日本語の文章です。まだ3級しかもっていない友人でも、簡単な日本語で気持ちを伝えることは難しいことはありません。

彼らがなぜ日本語を勉強したいのかを尋ねてみたところ、こちらが予想していたものとはちょっとギャップがありました。私の予想としては日本企業への就職、将来日本に住んで仕事をしてみたい、ということでした。なぜなら彼らほどの日本語の能力があれば充分だと思ったからです。しかし、反応としては、もちろん日本企業への憧れなどがあるものの、趣味としての部分が強いことに私は驚きました。例えば、日本文化にもっと触れたいとか、日本に旅行したいからとか、そのようなものです。日本のドラマも数多く放映されているし、映画も人気があります。日本の歌も自然に街角などで流れています。日本への旅行は、東京や京都、大阪などの大都市はもちろん、最近では九州や北海道など自然が多

いところが人気です。東北地方も自然が多いので、現在の香港人のニーズには合っているような気がします。ちなみに温泉が人気ようです。私の友人に関しては、Aさん（女性）は平井堅のファンであり、コンサートのため日本に数度旅行に行っています。女性のほうが積極的に日本へ旅行に行っているようです。また日本のドラマもよく観ているようです。実は日本語しか話せない日本人が多い、我々日本人にとって、少し感覚が違うところもあります。ごく一般の香港人でも、2ヶ国語は普通に話せます。広東語と英語です。更に普通語（標準中国語もしくは北京語）や日本語を話せる香港人もたくさんいるのです。語学学習は就職のためとか、外国に行くためとか、そのような理由だけでなく、ただ単に趣味として学習する人が多いのです。これは香港という長くイギリス統治下であり、カナダやオーストラリアなどへの移住者が多いということから、多くの人種が住む土地柄ということなどから、納得できることです。

日本、特に地方に住んでいると、ほとんど外国人と接する機会はありません。したがって外国語を習得する機会やその目的はほとんど必要ないといっても過言ではないと思います。香港では中国系のほかに多くの人種、民族が住んでいます。街を歩けば広東語、英語、北京語、日本語、韓国語、タガログ語などが飛び交っています。当たり前のように第2、第3外国語を習得する環境になっているのだと思います。

Pさんたちとの交流は1年半になります。私も片言の広東語を使ったりする時があります。どうしても先に恥ずかしいという気持ちが出てくるので、これは正しいのかなと思ってしまい口数が少なくなったりすることもあるのですが、間違っていようが正しいかが、相手に自分の気持ちが伝わるのが大切なんだとすごく感じます。私の場合、お酒を飲むとちょっと気持ちが大きくなり、でたらめの広東語を使って、友人たちに笑われています。でも自分の気持ちが伝わっています。それがコミュニケーションなんだと感じています。

フラット内を掃除するおばさんが、ほぼ毎日のように広東語で話かけてきます。彼女は全く英語が出来ません。英語で話し



香港の中心街「セントラル地区」の高層ビル群

かけてもチンプンカンプンです。でも彼女は負けずに広東語で私に話しかけてきます。最近はとても仲良くなったので、思い切って習いたての広東語を私のほうからも話しかけるようにしています。3つ4つ会話が続くこともありました。そうすると気分がとてもよくなります。「朝飯食べたか?」「うん食べた。」「何食べたの?」「日本料理」この程度の会話ですが。

さて、香港における日本語教育事情ということでレポートを書かせてもらっていますが、今回は私が香港で生活し、その体験からということを書かせてもらいました。次回は実際にデータなどを元にしたり、日本語学校の先生（もちろん日本人です。）などから話を聞いたりしてレポートを書きたいと思っております。

REPORT2

タコマレポート



タコマ・ピアスカウンティ商業会議所
(米国ワシントン州) マネージャー
ゲリー・ブラケット さん

2006年もタコマ・ピアス郡にとって実り多い年となりました。

タコマ・ピアス郡経済開発審議会によると、雇用が100人を超える企業数は前年比10.3パーセント増の203社を記録しました。2万近くの地元企業が小規模雇用から大規模雇用に移行しています。

タコマのこれまでの経済面での成功が二つの指標でランクインすることとなりました。

2月には、ミリケン・インスティテュート (www.milkeninstitute.org) により、雇用・賃金上昇率・ハイテクにおける経済的成果から200都市中第37位にランク付けされました。また、これを受けてインク誌の「ビジネスに最適な都市」 (<http://www.inc.com/bestcities/index.html>) の中規模都市の部で第17位にランク付けされました。

ピアス郡経済指標 (PCEI) (http://tacomachamber.org/chamberprograms/BusinessTrade/pdf/PCEI_Report.pdf) によれば、経済は低成長気味ではあるものの、失業率が2001年の不況 (エコノミストの間では未だ意見の分かれるところですが) 前より下がり続け、5.3%位です。雇用者数はゆっくりではありますが伸び続け、昨年に比べ8月の時点で8,600人増です。

港湾産業地域は、タコマ経済のエンジン部分で、タコマ全体に富と繁栄をもたらしています。隣接する180エーカーの土地を所有するタコマ港湾局とピュアラップ族は、ターミナル整備にとりか

かっています。

イーストブレアターミナルは、カイザー工場跡地として知られる港湾局所有のターミナルですが、バラ積み貨物を取扱い、軍用の貨物にも対応しています。SSAマリンは、ウォーターフロントではありませんが、52エーカーのライヒホルドの工場跡地を購入しました。また、以前バラ積み用のターミナルであったワシントンユニテッドターミナルは、既存の80エーカーに加え、20エーカー拡張しました。パイオニアアメリカ工場跡地は、マリアナプロパティーズが購入しました。

年前半から、土地開発業者も入手可能な産業用地を探していました。BNSF鉄道会社のサウスタコマウェイ56番通りにある所有地の環境浄化が済み、その土地の開発が要望されました。その150エーカーの土地は、重工業地区に位置付けられ、土地開発業者と鉄道側との最終プラン合意を待つところです。

タコマ港湾局は、隣のオリンピア港との共同事業として、両港にはさまれ、州間道路5号線にも近いメイタウンに物流センターを建てる計画に乗り出しました。土地面積754エーカーのうち300エーカーが輸送用に利用される予定で、残りは新たな産業のために空けておきます。サービスは、BNSF鉄道と公営のタコマ鉄道の山岳事業部が提供します。

ノルバンコ社のサムナー物流センターやイケア社のフレデリクソン進出でもわかるように様々なプロジェクトがピアス郡でおこなっています。中でも、ファイフ市にあるピュアラップ族の所有する12エーカーの敷地に8,200万ドルをかけて生ゴミをディーゼル燃料に変換する工場を建設することになったのは大変興味深いことです。

他のビジネスも伸びています。小売業のタコマモールは07年1月に140万平方フィートの拡張工事を始め、新店舗18~20軒が入居できるようになる予定であると発表しました。

ピアス郡行政は、郡政府のキャンパスを建設する計画を提案しました。そのキャンパスの地下に、地下2階建ての駐車場を建設すると、8,000万~1億500万ドルかかる予定です。

シーフォス水路の西側の開発も引き続き進められ、8,000万ドルのオフィス・レストラン・小売の複合施設が、1号区画に07年半ば~08年にオープン予定です。4号区画はホテル建設予定地のままです。5号区画は、7,500万ドルのコンドミニアムプロジェクトが予定されています。8・9号区画はシースカウトの水路西側への移転と関係しています。そして10・11号区画はコンドミニアム・グロッサリー (食料雑貨店) ・マリナーナ多目的地域プロジェクト用です。

住宅建設はどこへいってもブームです。2月の住宅中央値は25万5,350ドルでしたが、8月には27万2,393ドルに上昇しました。ここ5年、住宅販売は前年比54%増の3万3,000軒で、空き家は5%しかありません。

詳しくは、商業会議所のウェブサイト (www.tacomachamber.org) をご覧ください。

八戸港の貿易概況報告 (2006年1月～12月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

2006年八戸港の貿易概況は、輸出額、輸入額とも歴代1位と好調。輸出入額全体では開港以来初の2,000億円を突破し、年間貿易額の記録更新は5年連続。輸出額では、フェロニッケル・一般機械・魚介類の好調により増加。輸入額では、亜鉛鉱・一般機械・肥料等の好調により増加。また、コンテナ貨物通関本数は、中国・韓国航路の伸びにより、2年連続で2万本の大台を超え、過去最高の21,401本。

■平成18年1月～12月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計
 (八戸港・むつ小川原港・久慈港) から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船	NO	5	9,709,137	62.5%	68.2%
フェロニッケル	MT	132,813	62,049,488	130.3%	175.1%
有機化学品	KG	1,715,625	553,446	112.0%	123.3%
紙製品	MT	2,207	198,597	38.0%	25.9%
一般機械	MT	4,924	8,933,732	90.7%	1005.3%
鉄鋼製品	MT	1,925	498,249	6.8%	45.1%
飼料	MT	6,590	367,111	72.8%	75.5%
魚介類	MT	16,980	1,729,465	212.8%	198.2%
鉄鋼くず	KG	44,455,760	1,403,066	87.7%	102.7%
電気機器			13,321,497		100.8%
その他	—		2,256,665		116.6%
合計	—		101,020,453		142.8%

●コンテナ貨物通関額 () 内は前年対比

輸 出	582億5087万円 (153.7%)
輸 入	337億3618万円 (124.6%)

●コンテナ貨物通関本数 () 内は対前年比

輸 出	8,086TEU (103.9%)
輸 入	13,315TEU (104.7%)
合 計	21,401TEU (104.4%)

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	778,870	14,593,587	96.8%	106.2%
とうもろこし	MT	886,241	15,423,270	104.2%	109.5%
ニッケル鉱	MT	2,405,220	21,790,019	88.4%	107.1%
木材	CM	65,964	1,811,852	65.6%	73.9%
亜鉛鉱	MT	152,144	17,754,887	94.9%	248.9%
大豆粕	MT	280,964	8,825,756	127.8%	120.5%
魚介類	MT	13,752	4,457,092	110.9%	88.4%
飼料	MT	42,797	1,445,176	72.7%	81.8%
石炭	MT	722,048	5,822,866	90.3%	91.2%
こうりゃん	MT	168,267	3,053,608	92.5%	98.6%
ウッドパルプ	MT	15,340	1,090,423	69.2%	86.9%
カオリン	MT	153,210	3,693,865	115.5%	133.1%
肥料	MT	16,889	457,421	120.7%	134.4%
重油等	KL	117	7,022	63.9%	73.4%
コークス等	MT	126,828	3,047,028	115.3%	99.4%
鉛鉱	MT	137,104	2,634,533	245.2%	93.4%
金属製品	MT	5,712	1,703,265	153.0%	114.2%
その他穀物	MT	7,460	126,496	61.3%	61.9%
糖蜜	MT	6,936	124,446	107.1%	133.7%
一般機械	MT	2,093	2,323,702	129.0%	246.5%
その他	—		31,982,348		125.0%
合計	—		142,168,662		118.5%

ロシア極東・ハバロフスクへ

～農水産物を輸出するなら今～

昨年、県内企業 (株式会社ファーストインターナショナル：八戸市) が、ハバロフスク向けに県産りんごを輸出。現地で開催された試食・販売会が大成功だったことは記憶に新しいところです。

現在、世界有数の産油国となり経済好調なロシアでは、地方にも少なからずその影響が波及しています。現地のビジネス事情に詳しいハバロフスク日本センター前田奉司所長によると、極東ロシアでも市民の購買力が大幅に上がっていることに加えて、アムール河の汚染、農薬漬けの輸入野菜が多く出回り住民の健康に大きな影響が出ていることから、何とか清潔な日本の農産物を買いたいという希望が非常に強くなっています。こういう状況下でハバロフスク市民の中には「多少高くても、品質の良い清潔な日本食品であれば買いたい」という消費マインドが浸透しつつあることから、品質管理の行きとどいた良質な県産農水産物のハバロフスク向け輸出は高い可能性が見込めるとのことです。

また、ハバロフスク側でも、徐々に人的、物理的インフラが整いつつあります。

ハバロフスク空港で、植物検疫証明書 (ロシア側で必要とされる) の発行を受けることができるようになったこと、あるいは

は日本企業が経営する委託販売倉庫・食品冷蔵庫の活用により商談につながったという例などが、具体的に挙げられます。

また、外務省は1994年以降、「日本センター事業」を展開しており、極東地域ではハバロフスク、ウラジオストック、サハリンに日本センターが設置されています。日本センターでは、各地域で日本語講座、貿易実務講座などを実施。これら講座より優秀なビジネスパーソンが育っています。

ところで、情報が溢れる今日、欲しい情報について経験豊富なアドバイザーに日本語で相談できる「よろず相談所」が欲しいところです。アドバイスをもらえるだけでなく、現地での実務の指南も受け、さらには、商談あるいは展示ができるスペースも設置された施設であれば、ビジネスの発展に多に貢献するものと思われます。現在、このようなニーズを先取り、総合的なビジネスを支援する民間の機関として「日ロ総合ビジネスセンター」の設置が検討されており、前田所長はじめ関係者の方々は、今年9月の設立を目指して準備しています。

ロシア極東に限らず、進出先の開拓には困難がつきものですが、青森県は、ハバロフスクに直行の空路を持っていますし、現地でも人材も含めたインフラが整いつつあります。新規輸出先の一案に如何でしょうか？

日本貿易振興機構 (JETRO)
 青森貿易情報センター
 TEL 017-734-2575
 FAX 017-773-2877
 〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階



輸入住宅の基礎知識

「輸入住宅」という言葉を聞いて、どんな住宅で、どのような特徴があるのか、すぐに思い浮かぶでしょうか？このコーナーでは、「輸入住宅」に関する基本的な情報をご紹介します。

輸入住宅の間取り

輸入住宅は、吹き抜けを設けて2階までつながりをもたせるような大きな間取りが特徴的です。

リビングやダイニングなどを一つの大きな空間にまとめるオープンプランは枠組み壁工法の得意技です。パネルを組んだ箱型で家を構成するため、邪魔な柱や梁が必要なく、すっきりした空間を作ることができます。大きな空間であっても、輸入住宅は気密・断熱性が高いので効率のいい冷暖房ができます。また、家族が集いくつろぐリビングやダイニングを明るい大空間にまとめる一方、寝室などはしっかりと分離し、プライバシーも確保されています。

間取りを考える際に、輸入住宅であっても和室を設けたいと思う方は多いのではないのでしょうか。パネルで構成される輸入住宅では、柱や梁がないため和室風に見せるためには後から柱などを壁に打ち付けることになります。畳を入れる場合もフローリングとの段差を解消するように設計から考えなくてはなりません。こうしたことはかなりコストアップになります。そこで置き畳やゴザなどを利用して部屋の一部に“和”を演出する、または畳の段差をわざと活かした畳コーナーを作るなど、和室を希望される場合はコストも含めて設計士とよく相談することをお勧めします。

その他、浴室や玄関などは日本の仕様で施工することがほとんどです。洋式であれば洗面・浴室・トイレは一部屋のスリーインワンスタイルですが、日本ではあまり受け入れられません。最初から浴室・トイレを分離する設計が多くなっています。同様に玄関も上がりかまちをつけて靴を脱ぐ生活様式に合わせています。



AIRA会員紹介

今回の会員紹介は、グッドワークトレーディング有限会社様です。

グッドワークトレーディング有限会社は平成14年9月、貿易業として創業しました。おもに建築資材の輸入販売を行っております。取扱実績としては、屋根材、外壁材、サッシ窓（木製、バイニール）、床材、ドアなどがあります。

これまで輸入住宅に使用する部材は北米からの輸入品が主流でしたが、その後、北米メーカーの中国へのシフトが多くみられるようになりました。

そのため、弊社も数年前より中国、とくに大連での商品開発に取り組んでいます。中国からの輸入実績としては、木製建具、集成材、建築金物、ポリエチレンパイプなどがあります。

今後も輸入建築資材の商品開発に精力的に取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。



グッドワークトレーディング有限会社

住所 〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9八戸港貿易センタービル202号室

TEL/0178-72-1560 FAX/0178-72-1586

AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへ参加できる。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報提供が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加（自己負担あり）できる。

AIRA: 青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内
Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

■AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4F	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市造道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市浜館一丁目18-10	017-741-2063
グッドワークトレーディング有限会社	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テオー-小笠原	青森市東造道三丁目6-3	017-736-2000
有限会社アメリカンスタンダードログホームズ	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

	コンテナ航路	船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港)、韓国(釜山、光陽)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、南米、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、青島、大連) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地
		井本商運(株)	八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 東京 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	4
光陽(韓国)	5	10
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	7	6
高雄(台湾)	8	7
香港(中国)	9	9
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	9	9
蛇口(中国)	12	13
シンガポール	14	14
ジャカルタ(インドネシア)	16	17
バンコク(タイ)	18	18
レムチャパン(タイ)	18	18
マニラ(フィリピン)	18	20
ホーチミン(ベトナム)	18	17
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	25
オークランド(ニュージーランド)	31	34
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	37

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL: 0178-29-0202	FAX: 0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL: 0178-29-3177	FAX: 0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL: 0178-20-2321	FAX: 0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL: 0178-28-2401	FAX: 0178-28-6976
三八五流通株式会社	TEL: 0178-52-7755	FAX: 0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL: 0178-27-3311	FAX: 0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL: 0178-20-1651	FAX: 0178-20-2444
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫		



(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q 貿易の取引条件に基準はあるの?

A 海外と取引する際に、どの時点まで売り手が運んで費用負担をするか、買い手が負担する部分はどこからか、この点を明確にしておかないと売買価格がややふやになってしまいます。そういったトラブルを回避するために、国際商品売買取引慣習として「インコタームズ2000」という取引条件が用いられます。これは法律ではありませんが、混乱を招かないように相互の取引条件を取り決める国際的な基準となります。

インコタームズは商品の受け渡し場所を決めることが主目的です。単純に言うと、どこそこで受け渡していくら、そこまでの運賃すべての責任は売り手持ち、それ以降は買い手持ちと、こうなるわけです。

インコタームズは世界経済の発展とロジスティックスの変化に対応するため、10年ごとに見直されます。現在のインコタームズは2000年に改訂されたものなので、契約書や発注書に「インコタームズ2000」と正式に記入しておくとう間違いが起きません。

インコタームズは全部で13種類あります。日本でよく使われるものについて次回ご説明しましょう。

編集後記

タンポポや梅の開花が例年より早く確認されるなど、全国的に暖冬の様です。暖冬による雪不足で、岩手の冬の風物詩「岩手雪まつり」も、雪像の数を予定より減らして開催されたほどなのに、先日セミナー開催のため盛岡市を訪れたときには、高速道路が吹雪で通行止めになるなど、暖冬はどこへ行った?と日頃の行ないを反省しました。

それはさておき、暖冬の原因として、エルニーニョ現象が挙げられていますが、そのエルニーニョは、東南アジアの集中豪雨、豪州の干ばつや山火事など、世界各地の異常気象とも関係していると言われています。

本誌の記事にもあるとおり、昨年はサバが例年のないほどの豊漁で、おかげで八戸港の輸出货量も大きく増加したわけですが、これもエルニーニョと関係があるのでしょうか。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内
TEL:0178-43-2111(内線308・609) FAX:0178-47-5687 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp